

20160814 牢獄の賛美 使徒行伝 16 : 16~40

目標：ピリピ(ヨーロッパ)伝道のきっかけから投獄・地震までの流れを知り、パウロの言をもとに、人は主イエスを信じる信仰によって救われるとの確信を深める。

聖句：「主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたも、あなたの家族も救われます」(使徒 16 : 31)

時間：10分

道具：ホワイトボード、ペン、ヨーロッパの地図

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：本時のテキストは前週の箇所が前提である。一方当教会は第一週が大人との合同礼拝のため、前週の内容を知らない。最初に前週分を軽く押さえてから本時に入る必要がある。

| 段階   | 時間 | 教師から  | 子供に予想される反応   | 備考  |
|------|----|---|--|---|
| 課題確認 | 2分 | 第二回の伝道旅行は、世界の歴史の流れを変えたと言われることがあります。<br>なぜだと思いますか。<br>ヨーロッパとアジアの境を知っていますか。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>分からない。</li> <li>イエス様の福音が、ヨーロッパへ伝わった初めての出来事だから</li> <li>ボスポラス海峡(現イスタンブール)</li> </ul> | 高学年の子供がいれば、このことは触れておいた方がよい。併せて、キリスト教は元来アジアの宗教だったことも、考える材料として与えておきたい。<br>文化的に大きなハードルだったことに触れておきたい。<br>原文を見ると、確信ではなく、推察と言える判断であった。信仰による判断は、しばしばそのような判断をせざるを得ないことがあることも併せ触れたい。<br>前回の箇所も含め、ピリピ伝道のあらましを語る。<br>以下にそのトピックを記す。<br>会堂が無かったので、祈り場である川辺に行く。<br>紫布証人のルデヤとの出会い、<br>彼女の入信、ピリピ教会成立<br>占いの霊につかれた若い女奴隷の妨害(?)<br>占いの霊の追い出し<br>女奴隷の主人による迫害、投獄、むち打ち。<br>夜、地下牢に響く讃美の声<br>地震とその結果<br>看守の回心、パウロらの介抱<br>占いを教会は否定していることに言及する。<br>むち打ちの厳しさに言及しておく、夜の賛美がなお映えるだろう。 |
| 課題探究 | 6分 | パウロは、そこに渡るまで、たいへん逡巡したことが聖書には記されています。<br>ピリピに渡ってから、いろいろなことが起きてきました。  |  | 最近教会で、未信者に向けこれを語れない人が実に多い。将来そのような事例が少しでも減るよう、心して31節を提示し、子供たちが自分自身でこの命題に向き合えるようにしっかり植え付けたい。  |
| まとめ  | 2分 | 色々な厳しいことがある中で、パウロは、信仰によってだけ人が救われることについて、全く揺らがないのです。<br>パウロさんは、伝道の場所が変わっても、福音の中心を決してずらしませんでした。イエス様を信じれば、あなたも、あなたの家族も救われるのが私たちの受けている福音なのです。<br>暗誦聖句 |  | 185号のテーマからの反映。  |